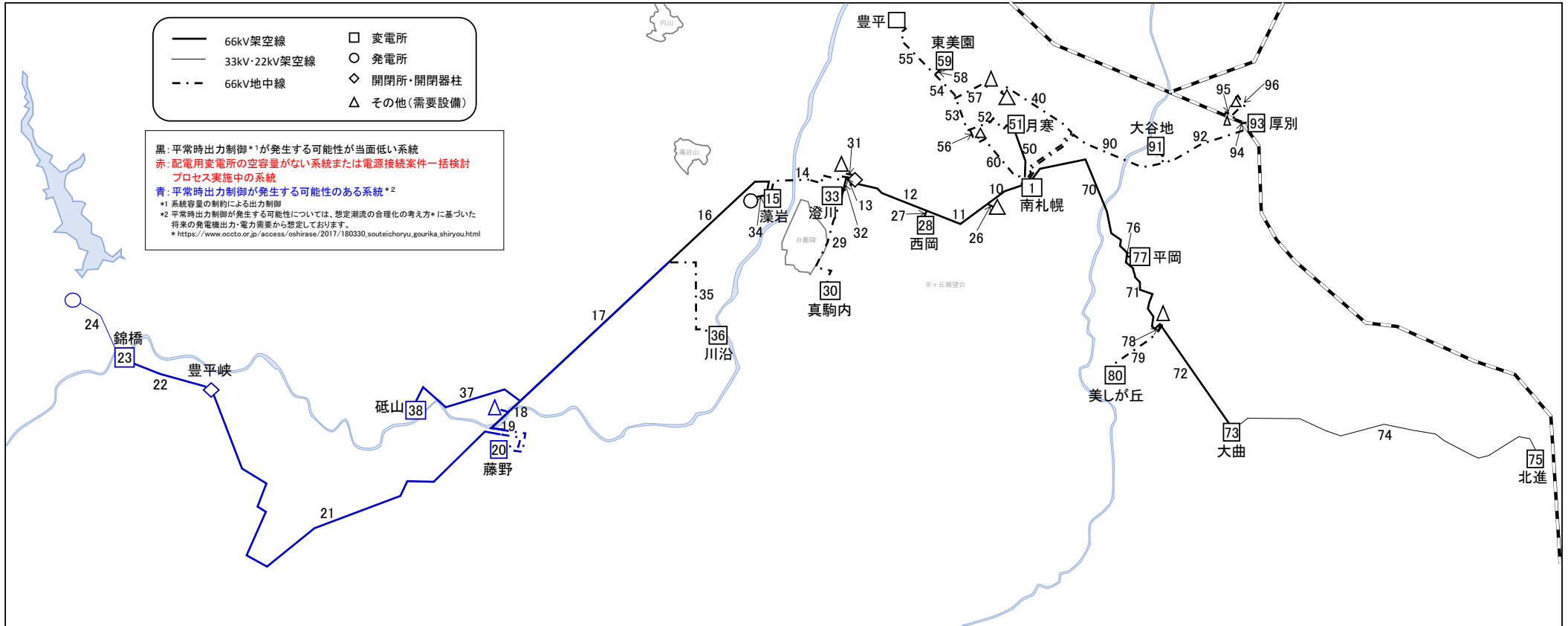


10南札幌系統空容量マップ



※マップ上の数字は、各設備の番号を表しています。当該設備の空容量は、マップ名に対応した空容量一覧表での同番号箇所に記載しています。

【留意事項】

- (1) 平常時出力制御の可能性の有無に関わらず、ノンファーム型接続適用電源となります。(低圧10kV未満の電源を除く)
- (2) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
- (3) 空容量や平常時出力制御の可能性は目安となります。系統接続の前には、接続検討のお申込みが必要となり、検討の結果、変更となる場合があります。
- (4) 原則として熱容量に基づく空容量および平常時出力制御の可能性を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (5) N-1電制適用可否欄には、当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可能容量有りでも、設置されるとは限りません。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
#1 1回線送電線のため
#2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
#3 配電用変電所のため
- (6) N-1電制適用可能容量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能容量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能容量が変更となる場合があります。
- (7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (9) 電源線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、接続検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
<https://www.octo.or.jp/grid/business/setzoku.html#non-firm>
- (10) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (11) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能容量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (12) 平常時出力制御が必要とならざる設備は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
* https://www.octo.or.jp/access/oshirase/2017/180330_soutetchonyou_gourika_shiryout.html

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能容量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
10	西岡線	66	2	296	157	熱容量	106	106	可	100	—	—	—	
11	西岡線	66	2	296	157	熱容量	105	105	可	100	—	—	—	
12	西岡線	66	2	194	110	熱容量	51	51	可	84	—	—	—	
13	藻岩地中線	66	2	202	114	熱容量	63	63	可	88	—	—	—	
14	藻岩地中線	66	2	143	79	熱容量	19	19	可	64	—	—	—	
16	藤野線	66	2	114	57	熱容量	3	3	可	57	—	—	—	
17	藤野線	66	2	114	57	熱容量	0	0	可	53	有り	対象	—	
18	藤野線	66	2	114	57	熱容量	4	0	可	57	有り	—	送17	
19	藤野線	66	2	114	57	熱容量	3	0	可	57	有り	—	送17	
21	豊平線	66	2	97	57	熱容量	1	0	可	40	有り	—	送17	
22	錦橋線	66	2	26	13	熱容量	8	0	可	13	有り	—	送17	
24	小樽内線	22	1	—	—	熱容量	4	0	—	—	有り	—	送17,変23(66/22kV)	◇
26	他社地中支線	66	2	—	—	熱容量	28	28	—	—	—	—	—	◇
27	西岡地中支線	66	2	158	91	熱容量	98	98	可	67	—	—	—	
29	真駒内地中線	66	2	120	68	熱容量	59	51	可	52	—	—	—	
31	他社地中線	66	2	—	—	熱容量	27	27	—	—	—	—	—	◇
32	澄川支線	66	2	80	40	熱容量	48	48	可	40	—	—	—	
34	藻岩発電所地中線	66	1	—	—	熱容量	31	19	—	—	—	—	—	◇
35	川沿地中支線	66	2	115	65	熱容量	72	3	可	50	—	—	—	
37	砥山支線	66	1	12	12	熱容量	1	0	不可 #1	—	有り	—	送17	※1
40	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	26	26	—	—	—	—	—	◇
50	月寒線	66	2	196	101	熱容量	124	124	可	95	—	—	—	
52	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	84	84	可	51	—	—	—	
53	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	84	84	可	51	—	—	—	
54	豊平地中線	66	2	125	74	熱容量	84	84	可	51	—	—	—	
55	豊平地中線	66	2	141	80	熱容量	80	80	可	61	—	—	—	
56	他社地中支線	66	1	—	—	熱容量	43	43	—	—	—	—	—	◇
57	他社地中支線	66	2	—	—	熱容量	43	43	—	—	—	—	—	◇
58	東美園地中支線	66	2	125	74	熱容量	84	84	可	51	—	—	—	
60	他社地中線	66	1	—	—	熱容量	44	44	—	—	—	—	—	◇
70	千歳線	66	2	217	131	熱容量	117	117	可	86	—	—	—	
71	千歳線	66	2	268	134	熱容量	105	105	可	100	—	—	—	
72	千歳線	66	2	268	134	熱容量	145	105	可	100	—	—	—	
74	北広島特高配電線	33	1	19	19	熱容量	19	19	不可 #1	—	—	—	—	※1
76	千歳線	66	2	93	51	熱容量	65	65	可	42	—	—	—	
78	美しが丘地中支線	66	2	164	92	熱容量	52	52	可	72	—	—	—	
79	美しが丘地中支線	66	2	137	68	熱容量	28	28	可	69	—	—	—	
90	新札幌地中線	66	2	113	64	熱容量	92	92	可	49	—	—	—	
92	新札幌地中線	66	2	72	49	熱容量	62	62	可	23	—	—	—	
94	他社地中線	66	2	14	7	熱容量	7	7	可	7	—	—	—	
95	他社地中線	66	2	—	—	熱容量	7	7	—	—	—	—	—	◇
96	他社地中支線	66	1	—	—	熱容量	3	3	—	—	—	—	—	◇

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能容量 (MW)	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御が必要となる設備		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系設備	
1	南札幌変電所	187	66	3	600	389	熱容量	386	386	可	100	—	—	—	※2
		66	6.6	2	35	15	熱容量	15	15	不可 #3	—	—	—	—	
15	藻岩変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	19	不可 #3	—	—	—	—	
20	藤野変電所	66	6.6	1	15	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	有り	—	送17	※1
		66	22	1	—	—	熱容量	0	0	—	—	有り	対象	送17	◇
		66	6.6	2	12	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	有り	—	送17	
28	西岡変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	
30	真駒内変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	
33	澄川変電所	66	6.6	3	30	20	熱容量	10	10	不可 #3	—	—	—	—	※2
36	川沿変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	3	不可 #3	—	—	—	—	
38	砥山変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	有り	—	送17	
51	月寒変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	
59	東美園変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	
		66	33	1	15	15	熱容量	15	15	不可 #2	—	—	—	—	※1
		66	6.6	3	50	30	熱容量	10	10	不可 #3	—	—	—	—	※2
75	北進配電塔	33	6.6	1	10	10	熱容量	10	10	不可 #3	—	—	—	—	※1
77	平岡変電所	66	6.6	3	55	35	熱容量	15	15	不可 #3	—	—	—	—	※2
80	美しが丘変電所	66	6.6	2	40	20	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	
91	大谷地変電所	66	6.6	3	60	40	熱容量	20	20	不可 #3	—	—	—	—	※2
93	厚別変電所	66	6.6	3	50	30	熱容量	15	15	不可 #3	—	—	—	—	※2